

目標、交流、振り返り…をつなげ主体的に学ぶ姿 校長 佐伯 孝司

新年の 白紙綴じたる 句帖かな 正岡 子規

新しい一年の始まり。時の流れに区切りを付け、節目という意識をもつことは、昔から大切にされてきた生きる知恵だと思います。まだ何も書かれていない白紙を綴じ込んで新しい句帖を作る。その句帖を目の前にした改まった気持ち。背筋が伸びる思いです。俳句を書くということ自体はそれまでも日常の中で繰り返し積み重ねてきたこと。その時間の連続の中の一点であり、その過程で培ったものを基にして次の句が生まれてくることなのでしょう。だからこそ、白紙を前にしたときの改まった気持ちを大切にしたいものです。白紙の句帖には、どんな言葉が書き込まれていくのでしょうか。

新年は一つの大きな節目、気持ちを新たに目標に向かう好機です。児童一人一人が新たな目標をもち、なりたい自分像を描く機会の一つにできたらと思います。もちろん、その目標は、それまでに積み重ねてきた様々な活動を振り返って今の自分像をもつことから生まれてくると思います。その振り返る行為、振り返る力も、これからの児童にとって大切なものです。

目標をもつ…振り返る…目標をもつ…。この繰り返しをしっかりと行っていくことを、日常の教育活動、特に学習活動において、大切にしていきたいと改めて思うところです。また、その過程において、他者との関わりの中で自分の考えを深めていくよう学習活動を設定していきたいと考えます。

学習活動において指導者である教員としては、意図的・計画的に児童の力を伸ばせるよう、知識や技能の習得すること、思考力、判断力、表現力等を伸ばすことにつながる、その活動に合った共通の目標を設定しています。これを基にして、一人一人の児童が自分の目標をもち、見通しをもちます。児童は、自力で課題解決に向かい、自分の考えをもつことを大切にしながら、資料を探してヒントを見付けたり、友達と考えを共有したり、様々な人たちとの交流活動を経験したりして、自分以外の他者との関わりを自分の力にして、目標を達成しようとしています。その過程における児童の、粘り強く取り組もうとする姿、自分の目標を意識してできていることとこれからさらにできるようになりたいことなどを捉えて次の学習活動に向かう姿。このような姿を主体的に学ぶ姿として描きながら、教員も主体的に学び、教育活動を進めていきたいと考えます。

自分の考えを表出したり、友達と意見や資料を共有したりするには、タブレット端末を活用した学習活動は有効です。その活動を積み重ね、記録と記憶が残っていくことで、自分の学習状況を振り返ること、次の活動につなげていくことも取り組みやすくなると思います。主体的に学ぶ姿を生み出すとともに、その他、様々な課題解決に教育的なデータの活用を図っていきたいと考えます。

校内での異学年等の交流活動、併設の臨川幼稚園との交流活動、地域学校協働活動推進員を通じた学習ボランティアの皆様の支援による活動、その他様々な交流活動が児童の興味・関心や考え方を広げ、主体的に学ぶ姿につながっていると捉えています。本年も、一層の推進を図っていききたいと思います。ご理解とご協力に感謝申し上げます。

児童にとって、また児童に関わってくださる皆様にとって新しい年の始まりがよい節目となり、今年もよいことが重なりますように、教職員一同、努めてまいります。

新しき 年の始めの初春の 今日降る雪のいや重け吉言 大伴 家持